



古い水路がせせらぎと植栽により水と緑の潤いある都市空間に生まれ変わった



ボードデッキなどで親水性にも配慮している



松と砂浜の風景など多彩な情景が演出されている

19 水と緑のせせらぎ広場



四日市市の富田地区には、江戸時代後期から利用されてきた塩役運河があったが、近年は雨水排水路として使用され、景観も損なわれていたことから、水と緑のある情景豊かな都市空間としての整備が図られた。

この「水と緑のせせらぎ広場」は、従来の雨水幹線の場所にボックスカルバートを埋設し、その上部にせせらぎの整備を行ったものである。

整備にあたっては、せせらぎ全体に変化を持たせ、訪れる人の目を楽しませることができるよう、滝と溪流の景色、里山の風景、松と砂浜の風景、海辺とヤシの風景といった趣きの異なった情景を施している。また、かつての運河としての情景を再現するために、船着き場の風景を表現した部分も設けられているほか、橋や石積み護岸も再現された。

せせらぎの水は、雨水幹線から汲み上げられた水を高度処理して流しており、水質浄化のPRも兼ねている。施工に際しては再生材を使用し、一部には透水性舗装を用いている。また、ボードデッキにより水辺に近づくことのできる部分を設けるなど、親水性にも配慮している。

整備後は、市民の散策や子供たちの遊び場として親しまれており、災害時の避難場所としての役割も兼ねている。

DATA・BOARD 19

- ① 三重県四日市市東富田町ほか
- ② 面積：約17,000㎡、延長：約900m、幅員：約20m
- ③ JR関西本線富田駅から徒歩約10分、東名阪自動車道四日市東ICから車で約10分
- ④ 十四川の桜並木、万葉史跡と聖武天皇社、オーストラリア記念館、四日市ドーム、イマナシ・アイナシ自生地、ばんこの里会館、堀川菖蒲園
- ⑤ 子供会のオリエンテーリングなど

